



知らなきや損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて
バックナンバー掲載中!!

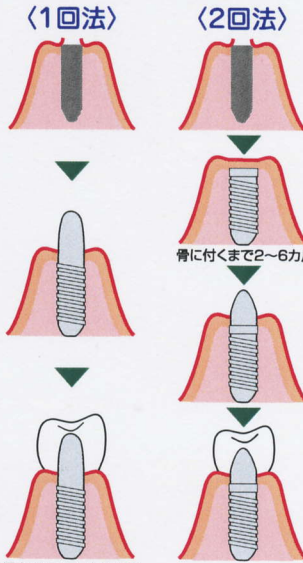


木村 匡司

②インプラント(1) 1回法と2回法

今回のコラムから6回にわたり「インプラント治療」について特集を組んでいこうかと思えます。昔から歯が無くなってしまった場合の治療法としては、取り外しの入れ歯や両隣の歯を削って入れるブリッジ治療法が主流でした。現在、世界的には歯が無いところへの治療は、顎の骨に人工歯根を入れて元あった歯のように噛み応えのあるインプラント治療が定着してきました。この治療法により今まで年々歯が無い部分が

増えていき、最後は総入れ歯になっていく治療法から大きく流れが変わってきました。歯を失う原因は虫歯や歯槽膿漏が主でしたが、治療法の選択によってもその後の残存歯の寿命が変わる事がわかったからです。インプラント治療は残



仮歯まで1日、本歯までやはり2~6カ月

存歯を守りますので、元あった自分の歯を最大限生かす事ができます。年々、入れ歯の部分が増えていく事を最大限に抑える事ができるのです。インプラント治療には大きく分けて2種類の治療法があります。骨が丈夫な場合に選択できる一

法は、手術が一回なので身体への負担が軽い、費用が比較的安いといった一回法です。手術が一回なので身体への負担が軽い、費用が比較的安いといった一回法です。

回法治療と骨が弱くても行える二回法治療です。図のように最初の手術で土台まで入れて仮歯まで被せる方法が一回法で、最初の手術でインプラントを入れたら骨に付くまでしばらく待ち、骨に付いた時期を見計らいもう一度簡単な手術で土台を付けるのが二回法です。

インプラント(自由診療)当院の例		
ブランドインプラント (2回法手術)	1本	315,000円
インプラント本体 (1回法手術)	1本目	262,500円
	2本目	210,000円
	3本目~	157,500円

★詳しくは当院ホームページをご覧ください。

が、骨よりの強固に結合するため感染のリスクが低い、清掃性が高いといった安全面・衛生面の事を考えるとやはり二回法が望ましいと思われるます。